

※「エンジニアという職業を語ろう」プロジェクトが「四日市ボランティア」に協力して企画しました。  
結果として、Benevity 対象事業となりました。

Benevity 対象事業 2019 年度第 1 回

---

★ローカルイベント 報告

「四日市ボランティア：科学・技術の面白さを伝え広めるボランティア活動」

【目標】：中高生向けに科学・技術の面白さを伝え広めるボランティア活動を  
四日市の地域・学校においていろいろな形で継続的に行う。

【第 1 回】：「中高生向けに科学・技術の面白さを伝え広めるためのツボ」  
—活動事例に学び、伝える側の意識について考える—

【主催】：NPO テクノ未来塾

【対象】：四日市市民、NPO テクノ未来塾会員・塾生

【日時】：2019 年 8 月 25 日（日）14：00-16：30（13：30 開場）

【会場】：じばさん三重 研修室 3

三重県四日市市安島 1 丁目 3 番 18 号

【内容】：

- 1) テクノ未来塾の紹介
- 2) 福島県川俣高校でのイノベーションに関する講演の紹介 <出川理事>  
“イノベーションとは何か？-江戸時代におけるイノベーター源内に学ぶ-”
- 3) 四日市南高校での活動事例 <宗像理事>  
「エンジニアについて」、あるいは「文系と理系の違い」
- 4) ボランティアとして中高校生に科学技術の面白さを伝え広める際に大切にすべき事：  
<ファシリテータ：堀池> <全員で議論>

【参加費】：無料

【申込先】：NPO テクノ未来塾・事務局 および  
堀池@四日市

【申込み受付】：2019 年 8 月 24 日（土）中！

お問い合わせは、堀池 または 事務局まで

---

※「エンジニアという職業を語ろう」プロジェクトの四日市南高校とのコラボ授業に際して「四日市ボランティア」も協力しました。結果として、Benevity 対象事業となりました。

Benevity 対象事業 2019 年度第 2 回

---

## 「エンジニアという職業を語ろう」プロジェクト 2019 年度活動報告 その 1

- ・目的：働くことについてイメージをひろげる
- ・議論：働くこと、未来への願望、自分の夢と実現 技術者としての将来と、文系理系との概念も議論
- ・リーダー：福井 清
- ・世話役：宗像 基浩
- ・メンバー 11 名 化学・鉄鋼・製薬・電機・重工・食品

### 四日市南高校とのコラボ授業

2019 年 10 月 27 日（日）に三重県立四日市南高校とのコラボを開催しました。今回で第 4 回目、当初は「エンジニア」について、高校生にレクチャーするということがスタートしましたが、当時の校長先生と議論した結果、「文系と理系」という視点で高校生と議論することが役立つということが分かり方針を修正しました。その後は「文系と理系 仕事について」というタイトルで継続しています。

今回の高校生の参加者は 25 名、若干女子生徒のほうが多かったです。また、文理で言えば 理系志望の生徒さんが 75% 程度でした。

今回は、堀池さん、折田さんのご協力で未来塾以外からもたくさんの方に参加してもらい、それから当方の知人の元銀行員の方にもパネラーとして参加してもらったこともあって、議論に幅が出たと思います。

また、グループ討議でも大人が複数混じることによっていろいろと話が膨らんだように思います。事後のアンケートでも満足度はかなり高くなりました。

未来・将来は決まっているわけではありません。 どう対応していくのか？ そのためにどういう知識を得て、考えるのか？ 考え方はどうするのか？ そういうことを指摘してくださる参加者の方もいらっやっって、高校生にはいい刺激になったのではと思います。

また、来年度も継続すべく対応はしていきたいと思います。こういうことを継続していけば、未来塾 (+α) ならではのコラボが構築できると思います。また、そのノウハウは今後には生かせると思います。

ご協力いただいた皆さんどうもありがとうございました。  
また、今後もよろしく願いいたします。

## 「エンジニアという職業を語ろう」プロジェクト 2019 年度活動報告 その2

- ・目的：理数科の高校二年生の物理の授業にエンジニアの現場の話題を紹介しながら、物理授業で学習する定理・法則・現象がどのようにエンジニアリング、サイエンスにつながるのか紹介。
- ・授業：物理を学ぶ先にあるエンジニアの面白さを、鉄鋼、自動車、エレクトロニクスを話題に挙げながら理系の仕事に夢を持ってもらえる学生を増やす。
- ・リーダー：福井 清 ・世話役：宗像 基浩
- ・メンバー 15 名 化学・鉄鋼・製薬・電機・重工・食品

西宮北高校理数科、新二年生の物理授業 2020年3月10日 火曜日（10～12時）  
鉄鋼・自動車＝福井 清、エレクトロニクス＝中谷 康雄 予定

今回が8回目（最初三島高校で1回、西宮北高は2014年市川聡さんから始まって7回目）、西宮北高校では当初は市川さん、松井さんのお話から始まって、その後、福井が鉄鋼の現場の話題で加わって、中山敦さんがゴムの話で広がって、中谷さんがエレクトロニクスにつながっています。2018年は、折田さんも入られ、銅と送電の話もされています。

授業では、ものづくりの「現物」「イラスト」のインパクトで掴みを入れて、エンジニアの世界を紹介しています。

担当いただいている和田教諭とは当初より授業の進め方など熱心に討議いただいています。2クラス50名前後の生徒さんとのやり取りは、授業の最後の質問コーナーや、授業の後のアンケートから、地元企業にメーカーの少ない関西で、エンジニアの面白さへの反響が高まることに充実感を感じています。

授業の後の充実感は、何事にも代えがたい価値がある活動で、校長先生や担当の和田教諭からも高く評価いただいています。今後もよろしく願いいたします。

問題点は、平日の授業のため、有休で西宮までボランティア出向が必要なこと。このため、講師が固定化・高齢化してきた一方、新しい話題を提供いただける塾生が足りないのが悩み。福井も60歳を超え、校長先生よりも年長でインパクト感がさびてきてます。

また、大学でサイエンスと取り組んでいると、自分の授業の内容が陳腐化してきていることも悩み。

## 2020年度活動方針

本年度を区切りに、関西の他、関東に協働できる高校を広げて活動をステップアップできる活動をご一緒いただけるメンバーの協力をお願いします。行政をリンクするのもいいかもしれませんし、物理に限らず、化学、生物でも、数学・AIプログラムでもいいと思います。

以 上